



Rotary



MATSUMOTO EAST

2024-2025年度会報
会長/飯島司 幹事/小林あや

2月14日(金)の予定
休会(クラブ定款)
2月21日(金)の予定
第3回ガバナー補佐訪問

2025. 1. 31. No. 21 通算No.1861

事務所/松本市深志1-1-21 中田歯科ビル5F 委員長/土屋久 副委員長/館島豪
TEL:0263-36-7737 FAX:0263-36-6009 委員/百瀬敏男 小林正樹
例会場/ホテルプエナビスタ 例会日/金曜日 12:30 太田隆治 眞峯透

通常例会

司会

点鐘 12:30

《ゲスト》

信州大学グローバル化推進センター教授 佐藤友則 様

信州大学工学部3年 チン ワン ジー 様

ロータリーソング「それでこそロータリー」(斉唱)

会長挨拶 飯島会長



1月20日にトランプ大統領が2期目の政権をスタートさせ、この1週間で30を超える大統領令に署名したというニュースが話題となりました。その

中には、地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」からの離脱や、大幅な関税改定などが含まれています。さらに合衆国政府機関で多様な人材を積極的に採用しようとするDEI政策が中止されました。このDEI(多様性、公平性、包摂性)の撤回は、社会や職場における多文化共生を推進する取り組みに逆行するものであり、私たちにとっても改めて「多様性」や「公平性」について深く考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。

本日は、先日の「留学生による日本語スピーチコンテスト」で見事に1位になられたチン・ワンジーさんのお話、そして彼女が通う信州大学から、佐藤友則先生をお迎えしております。この場を借りて、コンテスト開催にご理解とご協力をいただきました信州大学に心より御礼申し上げます。

チンさんには、留学生として日本で過ごされた貴重な体験や、そしてどのように異文化の中で努力されてきたかについてお話しさせていただきます。

続いて、佐藤先生には、留学生の就職活動や、多文化共生に関する企業の実情についてお話をいただきます。留学生が日本で働く際に直面する課題や、企業が多様性をどう取り入れているかなど、私たちの活動にも大いに参考になる内容となることを期待しております。

本日のスピーチを通じて、新たなヒントを得て、さらなるの活力につなげていければと思います。チン・ワンジーさん、佐藤先生、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

小林あや幹事

1. 本日「抜萃のつづり・その八十四」をお配りいたしました。これは、(株)熊平製作所会長で、東京ロータリークラブ会

ホテル・プエナビスタ

小林正樹会場監督委員長

飯島司会長

員の熊平雅人さんからの寄贈によるものです。会員の皆さんにご高覧下さいとのことです。

- 2. 地区大会報告書を配布しました。ご一読下さい。
3. 地区事務所より、長野県ユネスコ連絡協議会・世界寺子屋キャンペーンのお知らせです。書き損じはがきを回収し、世界の教育の機会を持たない子供たちに教育の場を与えようというものです。皆様のご協力をお願いいたします。
4. 次週2月7日(金)は、プエナビスタ14Fソルプレーサにて通常例会「雑誌評論」「平和と紛争予防月間特集」です。また11:30より定例理事会を予定しています。
5. 例会変更には、引き続き感染予防のため現在どのクラブでもビジター受付は実施されていません。

出席委員会報告

高波委員長

本日1月31日 欠席4名 出席率約87.1%

ニコニコBOX報告

齊川委員

- ・お陰様で無事新工場が落成しました。三澤君
・スピコン1位のチンワンジーさん、信州大学佐藤先生、本日は講演よろしくお願ひします。飯島君[会員誕生] 清水君
[夫人誕生] 清水君、越場君
[何となく] 小林あや君、村山君、北村君、北澤君
[写真掲載] 井上君、館島君、初山君、浅川君、百瀬正容君、佐々木君、百瀬敏男君、眞峯君

本日のプログラム

司会

吉池プログラム委員長



講演者紹介

福田国際奉仕委員長



【ゲスト講演】信州大学工学部3年 チン ワン ジー様

みなさんこんにちは。今日はこの場に立つ機会を頂き心から感謝致します。

私は中学校、高校の6年間ロータリークラブに所属していましたので、ロータリーには親近感を感じています。私は多民族国家であるアメリカ出身です。小さい頃から英語、中国語、母



国語のマレー語を学ばなければいけなかったのも、自然と言語のオンオフを切り替えることができます。これはマレーシアでは当たり前のことで、こうした環境で私は育ちました。今年で日本に来て4年目になりました。

なぜ日本に来たのかよく聞かれます。日本で必要なのは日本語です。高校まではすべて英語で学んで来たので、日本では2年間の間に日本語ですべてを習得し大学レベルの試験を受けなければいけません。浪人のように2年間学ぶことになり、その間にマレーシアの友人は就職したり先に進んでいますが、私はまだ大学3年生です。この2年間に価値があるのか何度も自分に問いかけましたが、当時の私は日本に強い憧れがあり「日本に行く」という1歩踏み出す勇気が出ました。

大学1年の時に、日本語能力試験の一番高いレベルに合格しましたが、日本文化に対しては小学生レベルだと感じました。マレーシアにいる時は、私は数学が得意でしたが、日本では文章問題を理解するのに手間取り、時間が足りなくなっていました。私はこの時、人より2倍努力しようと決心しました。

2年間を費やす価値があったかという問いに、4年経った今の私ははっきり答えられます。努力した分2倍の収穫がありました。日本で学んだことは視野を広げる事だけでなく、知らないことを知る大切さ、そして柔軟な考え方を身につけることが出来ました。日本、そして信州大学が私にチャンスを与えてくれました。

【職業奉仕月間特集】

信州大学グローバル化推進センター

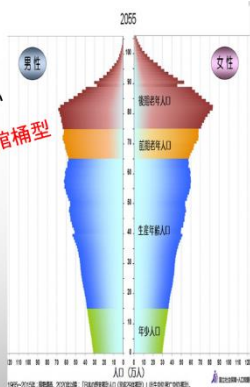
教授 佐藤友則 様

私がこちらに来て、今年で25年になりました。ほとんどの期間、松本東ロータリークラブさんのスピーチコンテストに参加させて頂き、学生の指導を行っていました。

私は大学教員の傍ら、研究のためにNPOの代表もしています。今日は外国人材の受入れなどについて、中信多文化共生ネットワーク理事長としてのお話を主にさせていただきます。

日本の多文化共生の実態

- 2055年予測 日本の人口ピラミッド
- どれほどの人がこの深刻な危機に気づいているか
- 英サセックス大 人口学の権威
「純血主義(その国の人だけ)は魅力的に見えませんが、そんな社会はありえません。」
- 台湾: 2065年予測 日本同様の状態
→ 1992年から移民の本格受入開始
→ 改革→ 人気の受入国へ
最早、日本ではなく台湾を選ぶ人 増



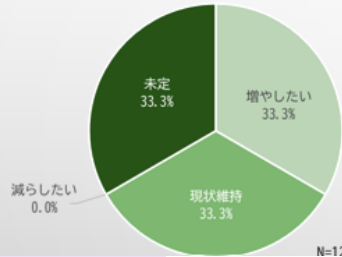
この数年の日本の多文化共生施策 1

- 2018年「出入国管理及び難民認定法(以下、入管法)」改定
 - 在留資格「**特定技能**」創設→ 外国人労働者の本格受入に舵
 - コロナ後:急増中 2023年末 208千(前年131千 **60%増**)
- 2019年 日本語教育推進法 制定
- 2022年 法務省:外国人との共生社会実現に向けた**ロードマップ**
 - 多くの多文化共生施策を明記/国の**本気度**が感じられるもの
- 2023年 技能実習制度の廃止 発表
- 2023年 特定技能2号 2業種→ 11業種に拡大
 - 2号: 在留資格の更新&家族の帯同可
 - 数年で帰らせる単純労働者⇒ しっかり定住する**移民**
- 2023年 日本語教育機関認定法(略称)制定
 - 国が日本語を教える機関を**認定** & 登録日本語教員: **国家資格**
 - 2019年 日本語教育推進法に続き、**5年間で2つ**の日本語教育関連の法律
- 2023年 入管法 改定: 強制的な帰国が可能に
- 2024年 再度の入管法改定「**育成就労**」制定
 - 簡単な日本語テスト(N5)に合格→ 来日/2年目?から転職可
やや難しい日本語テスト(N4)&技能テストに合格→ 特定技能1号へ
→ 永住も可能な特定技能2号へ
 - 永住取得者でも税金未払など→ **永住資格の取消 追加**
- 2025年 育成就労に関する詳細な案 発表、今後、固めていく

こちらが昨年末に皆さんにもご協力いただいた企業を対象にしたアンケートの結果です。主に中信地区 40社に回答を頂きました。

✓ 雇用有の12社

- 常用フルタイムでの雇用が最多
- 製造・機械・建設等の熟練作業員 多
- 3年後の雇用意向: サービス業はニーズ大



◆ 雇用の有無: 30%有

✓ 雇用無の28社

- 雇用に関心ありが約半数
- 製造・機械・建設等の熟練作業員の希望が最多、農業・工場・運搬・清掃がそれに続く。幅広い分野
- ① すでに3割が雇用しており、未雇用の企業も約半数が採用に関心を持っている。
- ② 日本語、行政、住宅手続き等が課題
- ③ 入社後、外国人社員と企業との相互理解が必要。

理解がない→ 早期離職につながる

世界の国々のように、多様な人を「仲間として」日本社会に入れ、一緒に住んで勉強して働き、多様な考え方や行動様式を日本に導入してイノベーション⇒ 単なる人手不足対策だけでなく、日本の発展につなげていくことが、多文化共生のメリットだと考えています。

【点鐘 13 : 30】

飯島会長